

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(42)番 福山市立山野小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	問題解決力	コミュニケーション力	協調性・柔軟性	チャレンジ精神
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	○疑問に対し、いくつかの視点から物事が考えられる	○友だちや地域の人と積極的にかかわる	○人の気持ちになって考えることができる	○好きなことや得意なことを積極的に増やし、自信をつける

2 授業の現状

・「少人数の学びの創造」をテーマに年間を通じて小中合同授業に取り組み、同じ視点で授業改善を進めている。しかし少人数ゆえ、児童と教員の一問一答になりがちで、思考の深まりや表現活動では、不十分な点もある。

転換

3 めざす授業の姿

・個々の児童に応じた資料、ヒントカードの提示や発問の工夫や構造的な板書の工夫により、児童の思考が深まり、自ら課題を解決しようと行動する授業
 ・児童が意欲的に活動する場を構築し、「分かった・できるようになった・楽しかった」等の自己肯定感を味わえる授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<input type="checkbox"/> 個の困り感を把握し、個に応じた指導を継続していく。 <input type="checkbox"/> 発問の精選を継続していく。児童の思考の助けになるよう導入や視覚支援を工夫し、「めあて」と「まとめ」の整合性を図る。 <input type="checkbox"/> 問題解決の時間を確保し、児童の考えを発表できるように、支援していく。	<input type="checkbox"/> 個に応じた指導をしていくことで、児童が「わかった。」と言える場が増えてきている。 ・発問を精選することで、問われていることの把握がしやすく、発表の回数が増えた。 ・視覚から考えていける場を増やすことで思考の助けになった。 △説明に戸惑う場がある。 ・学習への取組みがよりスムーズにいくような手立てが必要。	<input type="checkbox"/> 個に応じた指導を継続していく。 <input type="checkbox"/> 発問の精選を継続していく。問題把握しやすいような発問の工夫や視覚支援など行う。 <input type="checkbox"/> 自分の考えが発言できるように、自分の考えを一文で書く学習を入れていく。	<input type="checkbox"/> 個の状況にあわせ、発問を工夫したり、分かりやすい具体例を提示したりすることで児童が深まった。 ・視覚支援のための教材教具は児童にとって有効的であった。 △自分の思いや考えを発表することが難しい。	<input type="checkbox"/> 個に応じた指導を継続していく。 <input type="checkbox"/> 発問の精選を継続していく。問題把握しやすいような発問の工夫や理解しやすい視覚支援など行う。 <input type="checkbox"/> 自分の考えが発言できるように、自分の考えを事前にかく練習を入れていく。	<input type="checkbox"/> 視覚支援のための教材教具は、児童が問題把握するためには有効であった。今後、より思考を高めるための手立てを継続して考えていく。 △自分の思いや考えを表すことは、まだ難しい。 ・個の状況に応じた指導を継続して行ったが、単元テストでの理解度は変わらなかった。指導内容・方法について検討していく。

5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) (児童生徒質問紙調査)(%) (肯定的評価)

	A問題	B問題
国語	()	()
算数	()	()

()は県平均との差

自分にはよいところがある	
先生はよいところを認めてくれる	
将来の夢や目標を持っている	
人の役に立つ人間になりたい	

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 12/24	○「50m走」,「ソフトボール投げ」,「握力」ともに県平均よりも下回った。	○「50m走」は、県平均に比べ2ポイント程度低い学年がある ○「ソフトボール投げ」は、6~10ポイント大きく差がある学年があり、個人差が大きい。 ○「握力」は、県平均に比べて1~3ポイント程度低い学年がある。	○「50m走」の改善に向けて、短距離のスタートダッシュやリズム走を取り入れる。 ○「ソフトボール投げ」では、ストラックアウトボードなど投げる遊びを行ったり、タオルを振っての投球フォームの改善を継続する。 ○「握力」の向上に向けて、上り棒や雲梯などの固定遊具を使った運動遊びを取り入れる。
(女子) 11/16			
目標値	○新体力テストの総合評価のAB率を90%以上にする。○「50m走」の数値を県平均値にする。 ○「ソフトボール投げ」の数値を県平均値に近づける。 ○「握力」の数値を県平均値に近づける。		

「基礎・基本」定着状況調査 (児童生徒質問紙調査)(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	50
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	50
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	50
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	50

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (2)月末現在

暴力行為	0	不登校	28.6
------	---	-----	------

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	100	0
仕事に充実感がある	100	0

児童生徒アンケート(%) (2)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	100	0
自分の考えは、認められている	85.7	14.3